

シュロの葉が大変身！

「海辺の学校ネイチャークラフト」

4月12日(日)夜須町のシースポでNPO法人YASU海の駅クラブ主催の「海辺の学校ネイチャークラフト」が開催されました。大阪からフラワーアートの佐藤三和子先生を講師に招き、シュロの葉を使って、バッタのオブジェやカゴ作りを体験しました。

参加した約30人は、初めて経験するカゴ編みやバッタ作りを見よう見まねで挑戦。細かい作業に苦労していましたが「楽しかったけど楽しんでできました」と作品に満足していました。



山里包む三味線の音色

長谷寺「花祭り」



4月8日(水)夜須町羽尾の長谷寺で、お釈迦様の生誕を祝う「花祭り」が開催され、住民や檀家らが、花御堂に置かれた釈迦像に甘茶をかけるなどして無病息災を祈りました。また、今年は、この祭りをにぎやかにしようと、小林玄徹住職のはからいで、三味線奏者の語り弾きが行われました。この日訪れた約80人の住民らは、巧みなバチさばきと、深みのある声に耳を傾け「よさこい節」や「じょんがら節」が演奏されると、手拍子で応えるなど盛り上がっていました。

花に、はし拳にいらっしやい！

きらら桜まつり



3月28日(土)野市町大谷の「さくらの広場」で、市観光協会主催の「第2回きらら桜まつり」が開催され、約1,500人の来場者でにぎわいました。

花冷えの中、会場では「アルミ缶つぶし大会」や「はし拳きらら場所」、のいち動物公園とのタイアップで行われた「名探偵コナン」と題した「スタンプラリー」、ステージでは「ちんどんショー」などが行われ、会場を盛り上げていました。また、市内のうまいものテントが並び、花見弁当やお酒を買い求めるお客さんで大盛況でした。

今年初の試みとなった「はし拳きらら場所」では、17チームの参加があり、桜の下で白熱した戦いが繰り広げられました。参加者からは「来年は、個人戦もやってほしい」と早くも次の開催を心待ちにするうれしい声があがっていました。



いちごの入った
「きららさくらたいやき」

塩の道に思いをはせて

塩の道ウォーク

4月19日(日)香南市・香美市塩の道保存会主催による「塩の道ウォーク」が開催されました。香美市大柵から香南市赤岡町までの約30キロの健脚コースで、定員80人の募集に対し106人が参加する人気ぶり。

この日、道先案内人として同行した同会のメンバーは、昼食場所の文代峠で、しし汁を振る舞うなど、参加者のお腹を満たしていました。約8時間かけて険しい山道を乗り越えてきた参加者らは、その達成感に満ちた表情で汗をぬぐっていました。



金の豆やと！たま〜るか！

土佐弁ミュージカル



4月12日(日)のいちふれあいセンターで、県内に住む外国人青年らでつくるGENKI青年会主催による「土佐弁ミュージカル」が行われました。演題は「牧野と豆の木」で植物学者の牧野富太郎博士の伝記と、童話ジャックと豆の木を融合したファンタジー。

不思議な豆を手にした主人公マキノが、空の上に存在する植物王国を守り、金のなる木をもらうというストーリーです。会場では、流暢な土佐弁が飛び交い、軽妙な演技で笑いを誘っていました。

きて・みて・さわって・たいかん

春休み家族コンサート

4月5日(日)夜須中央公民館マリンホールで、香南市夜須町青少年育成会議主催の「春休み家族コンサート」が行われました。

これは、いろんなジャンルの音楽を聴いたり、気軽に楽器に触れてもらおうと行ったもので、コンサートでは、童謡やクラシックなどを演奏。来場者は、舞台上で一緒に歌ったり、歌遊びで体を動かしたり音楽を楽しんでいました。コンサート終了後には、キーボード体験も行われ、いろんな機能に挑戦していました。



待ち時間をリラックス

城山高校「赤岡駅へ座布団設置」



3月30日(月)城山高校「家庭クラブ」の生徒たちが、ごめん・なはり線「あかおか駅ホーム」の長いす用に、大型の座布団2枚を寄贈しました。これは、駅を利用するお客さんにゆったり座ってもらえる座布団を贈ろうと、生徒たちが発案したもので、市内各駅のキャラクターをあしらっています。

座布団の設置にきた生徒は「キャラクターを作るのが難しかったですが、可愛くできました。座りごちもいいです」と笑顔で話してくれました。